

○ 【強角膜切片の摘出】

(a) 強角膜切片摘出の準備

死体から眼球を摘出せず、直接強角膜切片を摘出する際には、滅菌された摘出キット等を用いて、細菌等による汚染の予防に細心の注意を払うこと。また、摘出場所での作業は、可能な限り衛生的に行うこと。

(b) 眼球の消毒、洗浄

眼球をポビドンヨード等を用い消毒し、滅菌生理食塩水等で洗い流し、眼球周辺も同様に消毒、洗浄し、衛生的な処置が行えるよう準備すること。

(c) 死体からの強角膜切片の単離

単離を行う際には、余剰の結膜等を除去し、滅菌生理食塩水や抗生物質の溶液で再度洗浄した後、角膜輪部より 2～4 mm 程度外側の部位の強膜を全周にわたりブレードや電動トレパン等を用い切開すること。強角膜切片の単離は、先端の丸いブレードなどで虹彩をゆっくり押し下げて眼球より強角膜切片を単離することにより行うこと。この際角膜を引き上げて虹彩を取ると、角膜内皮細胞に損傷を与えることがあるので細心の注意を払うこと。単離した強角膜切片は、眼球保存液の入った専用保存器に角膜上皮細胞側を下向きにして置き、素早く蓋をして封印すること。

「強角膜切片の摘出」に関する新旧対照表

改正案	現行
<p>○【強角膜切片の摘出】</p> <p>(a) <u>強角膜切片の摘出の準備</u> <u>死体から眼球を摘出せず、直接強角膜切片を摘出する際には、滅菌された摘出キット等を用いて、細菌等による汚染の予防に細心の注意を払うこと。また、摘出場所での作業は、可能な限り衛生的に行うこと。</u></p> <p>(b) <u>眼球の消毒、洗浄</u> <u>眼球をポビドンヨード等を用い消毒し、滅菌生理食塩水等で洗い流し、眼球周辺も同様に消毒、洗浄し、衛生的な処置が行えるよう準備すること。</u></p> <p>(c) <u>死体からの強角膜切片の単離</u> <u>単離を行う際には、余剰の結膜等を除去し、滅菌生理食塩水や抗生物質の溶液で再度洗浄した後、角膜輪部より2～4mm程度外側の部位の強膜を全周にわたりブレードや電動トレパン等を用い切開すること。強角膜切片の単離は、先端の丸いブレードなどで虹彩をゆっくり押し下げて眼球より強角膜切片を単離することにより行うこと。この際角膜を引き上げて虹彩を取ると、角膜内皮細胞に損傷を与えることがあるので細心の注意を払うこと。単離した強角膜切片は、眼球保存液の入った専用保存器に角膜上皮細胞側を下向きにして置き、素早く蓋をして封印すること。</u></p>	<p>5【強角膜切片の摘出】</p> <p><u>死体から眼球を摘出せず、直接、強角膜切片を摘出する際には、本技術指針の4、6及び7―1に準じて行うこと。特に、摘出の際、細菌等による汚染及び組織の損傷を防ぐよう留意すること。</u></p>